

2012年(平成24年)5月4日

ラポールの会総会がなごやかに開かれた＝土浦市中村西根のつくばカーサ



浦 「互いの話に勇気」

土 ラポールの会が総会

がん患者と家族の会「ラポールの会」(土浦市、野本篤志代表、会員約100人)の総会が4月29日、土浦市中村西根のつくばカーサで開催された。出席した約20人が、今年度の活動計画などを承認した。

今年度は10月につくば国際会議場に帯津三敬病院の帯津良一さんらを招いて、第4回がん統合医療セミナーを開催する。さらに、互いの闘病経験などを話し合う毎月のがんサロン、青空ヨガ教室、また花のエネルギーを心の安定に活用する「フラワーレメディィーカウンセリング」を新たに取り入れる。11月ごろには、日帰り温泉ツアーも実施予定。

昨年度の活動報告の際には、がんサロンについて、神奈川県川崎市から毎回出席している女性から「ここに来れるのは私の元気の印。(心理療法の)サイモン療法の話にはいつも勇気づけられる」と話したほか、3年前がんの手術をした女性が「皆さんの話を聞いて元気をもらっている」と語った。

また同会の荒川沖事務所に置かれている「高田式電子負荷治療器」の利用者から、「良く眠れるようになり体が軽くなって疲れにくくなった」

「肩こりや腰痛、モヤモヤした気分が2、3日はすっきりする」などの感想が伝えられた。

総会の後、参加者は近くのくぬぎ野ファームでタケノコ掘りを楽しんだ。

「ラポールの会」は2008年に20人で発足。「自分の健康は自分で取り戻そう」と、多彩な活動を展開している。

(赤嶺容子)